

事業計画書概要

令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業（ウクライナ復興支援・中東欧諸国等連携強化）

事業名	ウクライナ・ポーランド共和国・リトアニア共和国/「IT × バイオ技術でつなぐグローバルサウス経済回廊～ウクライナ高度IT人材に着目し復興に挑む創薬支援技術サービスの展開～」FS実証事業	企業規模	中小企業・中小企業以外
企業名	株式会社COGNANO		
事業形態	FS実証事業 / 実証事業		
事業分野	①情報通信 / ②エネルギー / ③交通 / ④都市基盤 / ⑤医療 / ⑥介護ヘルスケア / ⑦農業・食品 / ⑧廃棄物処理 / ⑨デジタル・プラットフォーム / ⑩その他		
事業規模	事業費総額：375百万円 / 補助対象経費総額：360百万円 / 補助金申請額：240百万円		
事業概要	<p>【商業化時のビジネスモデル】</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本発の IT×バイオ技術 が、復興を目指すウクライナで 人的・技術的・制度的に事業化可能か を検証する。具体的には、バイオバンク（UAB）によるサンプル品質評価、KPI、リヴィウITクラスターと連携したAIアルゴリズム開発チームの立ち上げ、NaturalAntibody社・PVR社による世界水準の納品体制整備、さらにJETROキーウ事務所・Deloitte社による法制度適合の確認を行う。これにより、ウクライナの理系人材育成と産業復興を支援し、グローバル市場に通用する新産業基盤を構築する。 <p>【実施内容・方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下のパートナーと協業しビジネス性を検証する。① 6名の ウクライナエンジニアを雇用 ② バイオバンク（UAB） Dr. Gramatiukとプロダクトの妥当性検証 ③ NaturalAntibody社と共にプロダクトの改変 ④ KPI、リヴィウITクラスターなど協力し世界 AI 創薬コンペを実施 ⑤ PVR社と共同開発し世界市場への新たなチャンネルを開拓。多国間・法人間の公正な取引と契約については、関係各所と調整し、必要に応じて、森濱田松本法律事務所に依頼する。 <p>【主な技術・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> COGNANOは独自のバイオマーカー探索法「IBMET®」を基盤技術とし、疾患特異的な標的を高精度に同定する創薬支援プラットフォームを提供する。AI解析と実験データを統合し、疾患標的構造を可視化。東大・京大・阪大・欧米大学・国際コンソーシアムが先進技術支援を行う。これにより初期創薬ステップの成功確率を大幅に高めるとともに、IT×バイオの融合による新たなグローバル創薬モデルを実現する。 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付決定日～3年間を想定 		

ウクライナ復興への貢献

【目標】

- 30年来、ウクライナが育んできた高度な理数系人材を活用して、日本から導入する先進バイオ技術と融合させることにより、同国をグローバルサウスにおけるヘルスケア産業のセンターに押し上げる。当社がウクライナ・東欧に構築したネットワークを軸として、日本発 IT × バイオ技術のビジネスモデルを成長させる。日本・東欧・最終市場（EU・米英）を結ぶグローバルサウス経済回廊の構築を目指す。本申請は、施設や物質に依存しない知的産業復興を通じて、持続的成長と自立を支援し、ウクライナ復興に新たな選択肢と希望をもたらす。